



国保の人の特定健診

多久市では、メタボリックシンドロームの該当者が県内で最も多く、生活習慣病での治療割合が依然として高い状況です。特に糖尿病は年々増加しています。今年度から集団健診において多久市独自の検査を追加します。ご自身の生活や健康を守るためにも、特定健診をぜひご活用ください。



■健診内容

受診場所	各町公民館（集団健診）	医療機関（個別健診）
健診料金	1,000円	
健診項目	計測（身長、体重、腹囲）、血圧測定、血液検査、尿検査、診察	
検査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・肝臓（AST、ALT、γ-GT） ・糖（血糖、HbA1c） ・眼底検査（対象者のみ：高血圧、高血糖で未治療者など） ・non-HDLコレステロール検査* ・脂質（中性脂肪、HDL・LDLコレステロール） ・腎臓（クレアチニン） ・尿検査（尿糖、尿蛋白、尿潜血） 	
	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 多久市独自の検査を追加します （集団健診のみ） </div> NEW	
貧血検査	全員実施	対象者のみ（医師の判断による）
心電図検査	全員実施	対象者のみ（健診当日に高血圧で未治療など）
結果説明	結果説明会などで保健師・栄養士が説明します	健診を受けた医療機関で行います

※non-HDLコレステロール検査とは、動脈硬化の原因となる血液中の悪玉コレステロールをまとめてあらわしたものです。この数値から、将来の心疾患や脳血管疾患などの発症リスクを予測できます。

生活習慣病は自覚症状がないまま進行するため、毎年受診して確認することが大切です。

病院受診しながら
毎年健診も受診

病院受診のみ

60歳の時の健診で、高血糖と言われ、食事を見直しました。すると血糖値は正常値に戻りました。

生活習慣病は自覚症状がほとんどなく、高血糖や脂質異常などは、健診を受けて、血液検査をしてみないと分かりません。
通院治療中の人でも特定健診の対象で、病院で診てもらっていると思っていても、生活習慣病にかかる血液検査がされていないこともあるため、健診を受けて確認しておくことも大切です。

48歳の時にメタボと高血圧を指摘され、病院で血圧の薬を飲むことになりました。

60歳になって初めて市の健診を勧められて受けたらHbA1cが7.2%。主治医に相談したら薬を飲むことになった。こんなに数値が上がっていたなんて知らなかった…。

黄色の封筒が届いたら、まずは予約を！

サンキュー
<各町公民館（集団健診）ではU39健診を実施しています>

対象は、19～39歳の市民の人、令和8年4月2日以降に多久市国民健康保険に加入された人、生活保護世帯です。職場や学校などで健診を受ける機会がない人は、ぜひご活用ください。右のQRコードから簡単にご予約いただけます。

特定健診・U39健診
 予約はこちらから



電話でも予約ができます
 ☎：0952-75-3355
 多久市 健康増進課